

令和6年度 中野区立令和小学校 研究構想図

学校教育目標

未来社会を担う子 ○よく考え表現する子 ○豊かな心をもつ子 ○たくましく鍛える子

研究主題

自他を大切に、共によりよく生きようとする児童の育成
～みんなが“たのしい”道徳の授業を通して～

<研究の目的>

- ・未来社会を担う子“豊かな心をもつ子”を重点に、道徳教育や道徳授業の充実を図る。
- ・児童と教師（みんなが）が“たのしい”と感じる道徳の授業を実践し、積み重ねることで、教師の授業力を高めるとともに、自他を大切に、共によりよく生きようとする児童を育成する。

<研究の仮説>

共通重点内容項目「親切、思いやり」を中心とした道徳教育、そして、児童と教師が“たのしい”と感じる道徳の授業を行うことで、児童一人一人が自分にとっての「よりよく」を考えることができるだろう。そして、それらを積み重ねることで、自他を大切に、共によりよく生きようとする児童を育成することができるだろう。

<道徳教育における共通重点目標>

共通重点内容項目 親切、思いやり

みんなが“たのしい”道徳の授業

主題に迫るための手立て

授業分科会

児童を引き付ける教材提示

- ・BGMの活用
- ・プレゼンテーションソフトの活用 他

思考を広げ深める工夫

- ・話し合い活動 ・書く活動
- ・表現活動
- ・複数の指導者による実践 他

ねらいと評価に沿った
発問構成

- ・問題意識をもたせる発問
- ・中心的な発問
- ・つなぎの発問
- ・振り返りの発問

環境分科会

授業記録写真(白板写真)

- ・授業実践を積み重ねる
- ・学校全体で共有

環境整備

- ・教材準備、整備、保存
- ・次年度以降も活用できる環境づくり

導入

問題意識をもたせる発問

児童にとって考えるべきことがある、考えたいような問題
・道徳的な問題場面から ・教材から
・日常生活から

展開

中心発問(ねらいに直結する発問)

ねらいとする道徳的価値に関するより多様でより深い意見が述べられるような発問

振り返りの発問(自己を見つめる発問)

感じたり考えたりした内容は一人一人が異なるため、児童が十分に自己を見つめることができる発問。その後、しっかりと自分を語らせる。

つなぎの発問

語り合いや教材を通して
一人一人にとっての
「よりよく」を考える

物事を多面的・多角的に考える

自己を見つめる

終末

授業の着地